

第75回日本生物工学会大会（2023）

会 期 2023年9月3日（日）～9月5日（火）

会 場 <一般講演・シンポジウム>

名古屋大学 東山キャンパス IB電子情報館中棟・東棟, ES総合館, オークマ工作機械工学館, 工学部1号館
(名古屋市千種区不老町)

<授賞式・受賞講演>

名古屋大学 東山キャンパス IB電子情報館東棟 IB大講義室

<創立100周年記念祝賀会> 名古屋 東急ホテル (名古屋市中区栄4-6-8) (対面にて実施予定)

<展示・ランチョンセミナー・学生のための企業研究セミナー>

名古屋大学 東山キャンパス IB電子情報館中棟, ES総合館

<若手会総会・交流会> 名古屋大学 東山キャンパス 南部食堂

大会ホームページ <https://www.sbj.or.jp/2023/>

主なスケジュール

| | |
|------------------|-------------------------------|
| 講演申込受付期間 | 2023年4月10日（月）～2023年5月10日（水）正午 |
| 講演要旨受付期間 | 2023年5月15日（月）～2023年6月9日（金）正午 |
| 前期参加登録締切日 | 2023年7月13日（木）17時 |
| 講演要旨集 [PDF版] 発行日 | 2023年8月21日（月）予定 |

| | 9月3日（日） | 9月4日（月） | 9月5日（火） |
|----|--|--|----------------|
| 午前 | 授賞式・受賞講演 | シンポジウム | シンポジウム |
| 昼 | ランチョンセミナー | ランチョンセミナー | ランチョンセミナー |
| 午後 | 一般講演 受賞講演 シンポジウム 学生のための企業研究セミナー | 一般講演 受賞講演 シンポジウム 学生のための企業研究セミナー | 一般講演 シンポジウム |
| 夜 | 記念祝賀会 | 若手会総会・交流会 | |

参加費 ※当日受付での現金決済はできません

| 会員種別 | 大会参加費 | | 祝賀会費 | |
|------|--------------------|-------------------------------|--------------------|-------------------------------|
| | 前期 (7月13日17時まで) | 後期・当日 (7月18日以降) カード決済のみ | 前期 (7月13日17時まで) | 後期・当日 (7月18日以降) カード決済のみ |
| 正会員 | 10,000円 | 12,000円 | 12,000円 | 15,000円 |
| 学生会員 | 6,000円 | 8,000円 | 5,000円 | 6,000円 |
| 非会員 | 16,000円 | 20,000円 | 15,000円 | 18,000円 |

(消費税を含む。ただし、正会員・学生会員の参加費は不課税。大会参加費は講演要旨集 [PDF版] 代を含む。)

講演要旨集 (冊子体) 講演要旨集 (冊子体) は、希望者には別途販売いたします (会員: 4,000円, 非会員: 5,000円 ※送料・税込)。ただし、発送は大会終了後になることをご承知おきください。

参加申込 大会HPの参加申込画面 (<https://www.sbj.or.jp/2023/registration>) にて登録をお願いします。

参加費のお支払い方法

前期参加登録期間: ①カード決済, ②コンビニ決済, ③銀行振込 (手数料自己負担) のいずれか。

後期・当日参加登録期間: オンラインでのカード決済のみ (当日会場受付での現金払いはできません)。

- 記念祝賀会** 対面形式にて、2023年9月3日（日）開催予定。開催の詳細は大会HPをご覧ください。
- ランチョンセミナー** 2023年9月3日（日）・4日（月）・5日（火）の昼休憩を利用して開催します。詳細は大会HPをご覧ください。
- 学生のための企業研究セミナー** 2023年9月3日（日）・4日（月）の一般講演後に開催する予定です。詳細は大会HPをご覧ください。
- 大会中託児について** 託児施設利用料の一部を補助します。詳細は大会HPをご覧ください。
- 学生優秀発表賞** 学生会員の優秀な発表を表彰します。1研究室2件まで審査を希望することができます。詳細は大会HPをご覧ください。
- 各種会議** 大会期間中に会議を開催予定の方は、大会実行委員会事務局までお問い合わせください（ご希望に沿えない場合もあります）。
- ＜申込締切日＞2023年7月13日（木）
- ＜問合せ先＞E-mail: sbj2023adm@chembio.nagoya-u.ac.jp
- 大会実行委員事務局** 〒464-8603 愛知県名古屋市千種区不老町
名古屋大学 工学部1号館 日本生物工学会第75回大会実行委員会
＜問合せ先＞実行委員会・総務担当 名古屋大学 清水一憲 E-mail: sbj2023adm@chembio.nagoya-u.ac.jp

シンポジウム課題およびオーガナイザー

演者などの詳細は後日大会HPに掲載しますのでご覧ください。

- 1. 創立100周年記念シンポジウム 生物工学の未来（2050年）第4回—メディカル・バイオエンジニアリングの将来展望—【本部企画】**
青柳秀紀（筑波大）、本多裕之（名大）、上平正道（九大）、竹山春子（早稲田大）、吉野知子（農工大）、章 超（霧島酒造）
- 2. KSBB-BEST-SBJ ジョイントシンポジウム【本部企画・国際シンポジウム】**
藤山和仁（阪大）、中野秀雄（名大）
- 3. 博士人材のためのキャリアパスシンポジウム【生物工学若手研究者の集い】**
青木 航（京大）、蟹江 慧（近大）、曾宮正晴（阪大）、三浦夏子（大阪公大）、徳山健斗（中外製薬）
- 4. 東南アジア国際シンポジウム —東南アジアにおけるバイオテクノロジーとバイオものづくりの今—【関西支部・国際シンポジウム】**
大橋貴生（摂南大）、尾島由紘（大阪公大）
- 5. 生命科学研究の革新に向けたバイオDXの挑戦【JST・CREST「データ駆動・AI駆動を中心としたデジタルトランスフォーメーションによる生命科学研究の革新（バイオDX）」研究領域 共催】**
岡田康志（理研/東大）、高橋恒一（理研/慶大）、石井 純（神戸大）
- 6. プロテインクライシスに挑む未来タンパク資源の製造・加工技術の開発と新たな食システムの創成を目指して**
小川 順（京大）、長森英二（大阪工大）、矢田美恵子（バイオインダストリー協会）
- 7. 無細胞タンパク質合成系の新展開：ラボからインダストリーへ**
加藤晃代（名大）、Jasmina Damjanović（名大）、中野秀雄（名大）
- 8. サーキュラーバイオエコノミーにむけたバイオものづくりの発展**
細川正人（早稲田大）、近藤昭彦（神戸大）
- 9. リグニンの利用に向けたホワイトバイオテクノロジーの潮流**
園木和典（弘前大）、政井英司（長岡技科大）
- 10. データサイエンスと環境バイオテクノロジーの接点**
簡 梅芳（東北大）、堀 知行（産総研）

11. 酵母という生き物～生態学的ふるまいとその多様性の理解に向けて
渡辺大輔（奈良先端大），清家泰介（阪大）
12. 森も木も見る微生物研究：連携による集積知
阿座上弘行（山口大），野村暢彦（筑波大）
13. INTPART-MISC 国際ジョイントシンポジウム【INTPART-MISC 共催・国際シンポジウム】
吉本将悟（名大），中谷 肇（名大），堀 克敏（名大）
14. 多様な生体分子を基盤とした分子ピタゴラ装置の創出【国際シンポジウム】
本田孝祐（阪大），木賀大介（早稲田大），松浦友亮（東工大）
15. 未知の生命情報を獲得するためのバイオ分子ツールの設計と機能創出
山口哲志（東大），神谷典穂（九大），座古 保（愛媛大）
16. 微生物炭素固定代謝の多様性に基づく合成生物学
跡見晴幸（京大）
17. 高分子医薬品モダリティの創薬と製剤を加速する未踏分析技術へのグローバルな挑戦
松田史生（阪大），内山 進（阪大），馬場健史（九大）
18. 下面発酵酵母のすべてを理解するために
野田陽一（東大）
19. セルインダストリー発展に向けた細胞製造工学の進化～世界をリードする細胞製造を目指して～
宮本義孝（国立成育医療研究センター），堀江正信（京大），加藤竜司（名大）
20. 合成生物学が切り拓く次世代型天然物創薬
恒松雄太（名大）
21. データ駆動型研究が導く未培養微生物（微生物ダークマター）の開拓と展望
青柳秀紀（筑波大），堀之内貴明（産総研）
22. 醸造・発酵の新たなブレイクスルーに向けて【本部企画】
山田 翼（菊正宗酒造），秦 洋二（月桂冠），章 超（霧島酒造），
安原貴臣（アサヒクオリティーアンドイノベーションズ）

講演申込と要旨提出について

講演申込期間

2023年4月10日（月）～5月10日（水）正午（締切厳守）

要旨登録期間

2023年5月15日（月）～6月9日（金）正午（締切厳守）

申込資格 一般講演の発表者は2023年会費既納の本会正会員または学生会員に限ります（1人1演題のみ）。講演申込には発表者の会員番号が必須となり、会員番号がない場合には登録できません。必ず事前に入会手続きをお願いします。会員番号は入会登録と会費の入金確認ができ次第お知らせしますが、1週間程度かかりますので早めの手続きをお願いします。入会はHP「入会案内」（<https://www.sbj.or.jp/join/>）よりできます。なお、会員番号が不明の場合は、事務局（info@sbj.or.jp）にお問い合わせください。

発表形式 本年度の一般講演・シンポジウムは口頭発表形式で行います。パソコンからプロジェクターへの映写としますので（音声の出力には対応していません）、発表者はパソコンをご持参ください。プロジェクターはHDMI端子（タイプA：標準タイプ）に対応しています。それ以外のタイプ（ミニやマイクロ等）には対応していませんので、変換ケーブルが必要な場合は必ず自身で持参してください。講演時間は1題につき、12分（発表9分、討論2分30秒、交代時間30秒）の予定です。プレゼンテーション用のスライドのサイズ（横

と縦の比)は4:3で作成してください。また、原則として、少なくとも18ポイント、できれば24ポイント以上の文字サイズの使用を推奨します。文章・図表は、緑と赤の区別の難しい人がおられることを考慮して、この色の組合せは極力避けてください。**発表のスライド言語は英語を基本として作成してください。**

試写室はありませんが、一般講演では座長交代のタイミングにあわせて現場で簡単に接続を確認できる時間を設定する予定です。発表者は余裕を持って講演会場にお越しください。また当日のパソコンの不具合に備えて、データのバックアップを入れたUSBメモリを必ずご準備ください。当日、車いすでのご発表など、補助が必要な方は大会実行委員 (E-mail: sbj2023adm@chembio.nagoya-u.ac.jp) までお早めにご相談ください。

申込・講演登録方法

昨年同様、講演申込と要旨登録の期間を分けて登録となります。締切後は、理由の如何を問わず、新規申込み、要旨を含む内容修正はできません。締切前はアクセスが集中し、申し込みできない場合がありますので、早めの申込みをお願いします。なお、講演申込後、要旨の登録がない等、内容に不備がある場合は、講演受付を取り消すことがあります。講演申込・要旨の登録システムに関して不明な点は株式会社ダイナコム (E-mail: sbj2023@dynacom.co.jp) > にお問い合わせください。

講演申込期間 2023年4月10日(月)～5月10日(水) 正午

以下の手順に従ってお申し込みください。

- ① まず、<参加申込>画面で参加申込を行ってください。折り返し「参加申込番号ID (ID:例E0001)」と「パスワード」が送付されます。
- ② 次に、<講演申込>画面で「参加申込番号ID」と「パスワード」でログインし、下記の注意事項を参考に講演内容の登録をしてください。講演申し込み時には200文字以内の発表概要の入力をお願いします。
- ③ 講演内容の登録が完了すると、画面に「演題受付番号」が表示されます。演題受付番号は必ず記録、保存をお願いします。トラブル発生時の問合せに必要となります。

要旨登録期間 2023年5月15日(月)～6月9日(金) 正午

- ④ 「参加申込番号ID」と「パスワード」で<講演申込>画面にログインし、要旨本文(テキストのみ)を入力してください。一般講演の要旨は全角770文字(半角1540文字)以内に収めてください(スペース含む)。

講演申込みに関する諸注意 ※入力の際には画面の注意事項をよくお読みください。

■**文字数** タイトルは、全角100文字(半角200文字)、著者名および所属略称は全角200文字(半角400文字)、発表概要は全角200文字(半角400文字)以内に収めてください(スペース含む)。著者名は、必ず個人名(フルネーム)を記入してください(団体名等は受け付けません)。日本語で発表する場合は、タイトル、著者名、所属略称の英語表記が必要です。入力フォームの表示に従って文字数をご確認ください。

■**所属略称** 英文・和文ともに紛らわしくない限り短い省略形とし、1) 大学院→院、2) 大学院しかない場合は院も省略(例:奈良先端大・バイオ)、3) センター→セ、4) 研究所→研、5) 市立、府立、県立の「立」は削除、6) 企業の場合、(株)は不要、7) Graduate School of Biotechnology→Grad. Sch. Biotechnol.、8) 通称がある場合は使用(例:ICBiotech.)。

■**分類コード** 第1、第2希望ともに選択してください。どうしても第2希望で該当するものがない場合には、第1希望と同じものを選択してください。

■**キーワード** キーワード欄の横ボタンで一覧表が表示されますので選択してください。一覧表にない場合は、手動で入力ください。途中で空欄を作らないように上から順番に英語で、1つは必須で4つまで可能です。

■**学生優秀発表賞の審査希望** 本会では、学生会員が行う発表を審査し、優れた発表を表彰します。1研究室2件まで審査を希望することができます。

■**大会トピックス公開の希望** 本会では、年次大会を優れた研究成果や産学官の会員の貴重なシーズの公開の場と位置づけ、将来性や実用化が期待される講演発表についてマスコミ等の報道により研究成果やシーズを広く公開していく方針です。シーズ等公開の希望、取材対応の可否、アピール点をご申告ください。「大会トピックス公

開の希望」でYesに付けられた発表から、実行委員会において30題程度のトピックスを選定し、全国TLO、バイオビジネスシーズに関心のある団体等に公表する予定です。大会トピックスに選定された演題については、以下の対応を行っていただくことになります。

- ・大会実行委員の選定による「トピックス集」への原稿作成
- ・本会大会前に実施する記者発表会における研究内容の公開
- ・新聞社等のマスコミからの問合せや取材への対応

また、大会トピックスの中から複数の演題を「トピックス賞」として選定し、大会実行委員長名で表彰します。

■備考（通信欄） 発表者が20人を超える場合や氏名の漢字など、印刷時の希望事項などをお書きください。文字数は全角200文字以内でお願いします。なお、最終的には大会実行委員会の判断で、ご希望に沿えない場合がありますのでご了承ください。

分類コード

| 技 術 分 野 | |
|---------------------|---|
| 分 野 | 第一希望・第二希望の選択項目 |
| 遺伝学, 分子生物学および遺伝子工学 | 1 分類, 系統, 遺伝学 2 遺伝子工学 |
| 酵素学, タンパク質工学および酵素工学 | 3 酵素学, 酵素工学 4 タンパク質工学 5 抗体工学 |
| 代謝生理学・発酵生産 | 6 発酵生理学, 発酵工学 7 代謝工学 8 オミクス解析 |
| 醸造・食品工学 | 9 醸造学, 醸造工学 10 食品科学, 食品工学 |
| 環境バイオテクノロジー | 11 環境浄化, 修復, 保全技術 12 環境工学, 廃水処理技術 13 バイオマス, 資源, エネルギー工学 |
| 生物化学工学 | 14 生物化学工学 15 培養工学 16 バイオプロセス |
| 植物バイオテクノロジー | 17 植物細胞工学, 組織培養, 育種工学 |
| 動物バイオテクノロジー | 18 生体医用工学 19 セル&ティッシュエンジニアリング |
| バイオ情報工学 | 20 生体情報工学, バイオインフォマティクス 21 システムバイオリジー |
| 分析計測化学 | 22 バイオセンシング, 分析化学 23 センサー, 計測工学 |
| 生体関連化学 | 24 生合成, 天然物化学 25 有機化学, 高分子化学 |
| 生体分子工学 | 26 核酸工学 27 ペプチド工学 28 脂質工学 29 糖鎖工学 |

参加費支払い方法

大会参加費のお支払いは、前期参加登録期間は、①カード決済、②コンビニ決済、③銀行振込（手数料自己負担）に対応しています。後期・当日参加登録期間の支払方法は、オンラインでのカード決済のみです（当日会場受付での現金払いはできません）。

手順は以下の通りです。

- 1) <参加申込>画面にて登録を行ってください。
- 2) 参加申込番号とパスワードが掲載された受付通知メールが届きます。
- 3) カード決済とコンビニ決済は、受付メールに記載のURLから決済画面に進み、参加申込番号とパスワードでログインしてください。銀行振込を選択された方は、メールに記載された口座にお振り込みください。

※請求書および領収書（PDF）は、<参加登録確認>画面よりダウンロードすることができます。

紛失等による領収書の再発行はいたしません。ダウンロードファイルは必ず保存してください。

※お支払い完了後に送信される「決済完了メール」は支払確認に必要ですので、大会終了後まで保存してください。

※要旨集（冊子体）の申込みも<参加申込>画面にて受け付けます（発送は大会終了後となります）。

参加章について

- ・参加章は事前送付いたしません。
<参加登録確認>画面よりダウンロードし、各自で印刷して当日は必ずご持参ください。
- ・参加章ホルダーは大会受付にてご用意しております。
- ・会期中は必ず参加章の着用をお願い致します。